

キウイフルーツ病害虫防除暦

散布日	散布時期	散布薬剤(水100ℓ当り)	収穫前 使用 時期	使用 回数 (以内)	散布量 10a当り	対象病害虫	注意事項
月 日	3月下旬 発芽前	(水90ℓ) 石灰硫黄合剤 10ℓ	発芽前	—	300ℓ	カイガラムシ類	①石灰硫黄合剤は隣接するハウスビニールにかからないようにする。 ②剪定跡にはトップジンMペーストを必ず塗布する。
月 日	5月下旬 開花前	展着剤 10ml アグレプト水和剤 100g スプラサイド水和剤 66g	90日前 60日前	4回 3回	350ℓ	花腐細菌病 かいよう病 クワシロカイガラムシ	①主幹部のコウモリガ食入はハリガネ等で捕殺する。
月 日	7月上旬	展着剤 10ml ダコニール1000 100ml	60日前	7回	350ℓ	果実軟腐病 すす斑病	
月 日	10月上旬	展着剤 10ml トップジンM水和剤 100g	前日	5回	350ℓ	果実軟腐病	①収穫前の最終防除。貯蔵・追熟中の病害の重要な防除となります。

*** 上記以外で、キウイフルーツに登録のある農薬例**

農薬名	倍率	収穫前規制	使用回数	対象病害虫	使用時期
フェニックスフロアブル	4000	7日前	3回	キイロマイコガ・ハマキムシ類	5月下旬頃
モスピラン顆粒水溶剤	2000	7日前	3回	カイガラムシ類	5月下旬頃
アグリマイシン-100	1000	落花前	3回	花腐細菌病・かいよう病	6月中旬まで
ベンレート水和剤	2000	7日前	5回	果実軟腐病・すす斑病	7月上旬頃
アディオン乳剤	2000	7日前	5回	カメムシ類・キイロマイコガ	7月下旬から8月下旬

*** 果実肥大促進(フルメット処理) 1回のみ** 散布時期に応じた処理濃度にしましょう。

時期	薬剤名	濃度	使用回数	注意事項
開花後20~25日	フルメット液剤	2.5ppm (水4ℓに10ml 瓶1本)	年間を通じて	①果実浸漬、または果実散布 ②着果過多の場合、樹勢が低下する恐れがあるため、適正着果量にする。
開花後25~30日	フルメット液剤	5.0ppm (水2ℓに10ml 瓶1本)	1回のみ	

* 処理が遅れると、肥大効果が十分ではなくなります。開花後30日までに処理しましょう。

* 早い時期に処理する場合は、濃度が濃いと変形果の発生が多くなりますので注意してください。

6月~7月末で果実の大きさが決まります。土壌の乾燥や摘果遅れ等に注意。